

第 6 学 年 国語科学習指導計画

1. 単元名 筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう

教材名 「自然に学ぶ暮らし」 (指導時期：1月中旬)

2. 単元の目標

- ・ 事実と感想・意見などとの関係を押さえながら文章の内容を的確に押さえ、筆者の考えと比べながら自分の考えを明確にすることができる。
- ・ 文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

3. 指導計画（全8時間）

	時	おもな学習活動（第二課題は●）	◎指導上の留意点 ☆評価
一 次	1	○「自然に学ぶ暮らし」を読んで、「初めて知って驚いたこと」「疑問に思ったこと」などを話し合う。 ○学習課題を設定し、学習計画をたてる。	◎「自然に学ぶ暮らし」という題名から想像できることを発表させ、導入とする。 ◎「初めて知って驚いたこと」「疑問に思ったこと」に分けて、教科書に線を引かせる。 ◎手引きと関連させながら、学習課題を設定させる。 ☆自然の仕組みを生かした新しい暮らしに興味や関心をもち、「自然に学ぶ暮らし」を読んで、感想をもっている。
	2	○筆者の挙げている事例をまとめ、自分たちの暮らし方と比べる。 ●筆者の考えている「新しい暮らし方」がどのようなものか、100字程度にまとめよう。	◎最初の事例は全員で取り組み、要点の押さえ方、自分たちの暮らしとの比べ方を共通理解させる。 ◎「自然の仕組みを生かす」ことを中心に大切な言葉を書き出し、要旨にまとめる。
	3	【例文】 「新しい暮らし方とは、自然の仕組みを生かした暮らしのことである。自然に学んだ暮らしを一から考え直すことで、資源を守り、私たちがいつまでも暮らしていける社会を形成することにつながるのである。」	☆筆者の挙げている事例や根拠、判断や主張に注意して、どのように論証しようとしているかを捉えている。

二 次	4	○筆者の考えている「新しい暮らし方」と自分の考えを比べて、同じところや違うところを発表し合う。	◎読み終わった後、自分の考えとの共通点・相違点は何かを意識させる。 ☆文章の内容と、自分の経験や知識とを照らし合わせ、自分の考えを書いている。 ☆互いの感想を読み合うことで、自分の考えにはなかった考えに気づき、自分の考えをさらに深めたり広げたりしている。
	5	●既習の文章表現をいかして、他の事例について説明する文を考えよう。 【文の構造】 ①どんな自然の仕組みから学んだか ②学ぶべき自然の仕組み ③何に活用されているか ④活用することによって得られる利点	◎文章の構造を理解し、どのような順序で説明を進めるのが効果的か考えて書かせる。 ☆文章の構造に気をつけて、説明文を書くことができる。
三 次	6	○自分が考える「新しい暮らし方」について文章に書いてまとめよう。	◎既習事項である4つの観点をもとに、自分が感心のあるテーマについて考えさせる。
	7	○自分が考える理想的な未来の社会について、文章に書いてまとめる。	☆文章の内容と、自分の経験や知識とを照らし合わせ、自分の考えを書いている。 ◎自然の仕組みを生かすという観点に沿って理想的な未来の社会について考えさせる。
	8	○書いた文章を読み合い、自分の考えを深めたり、広げたりする。	◎読み終わった後、自分の考えと共通点・相違点は何かを意識させる。 ☆互いの感想を読み合うことで、自分の考えにはなかった考えに気づき、自分の考えをさらに深めたり広げたりしている。